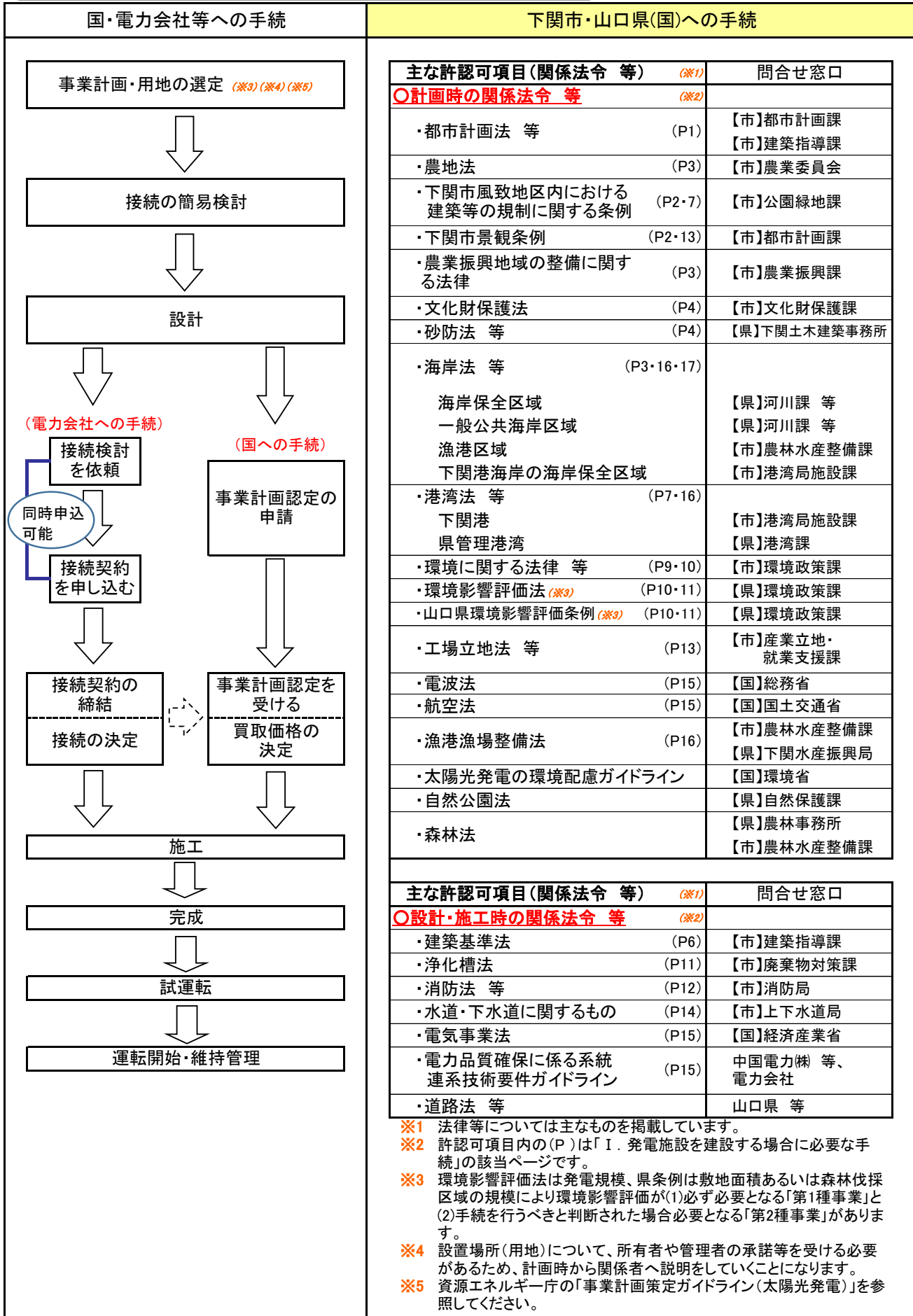
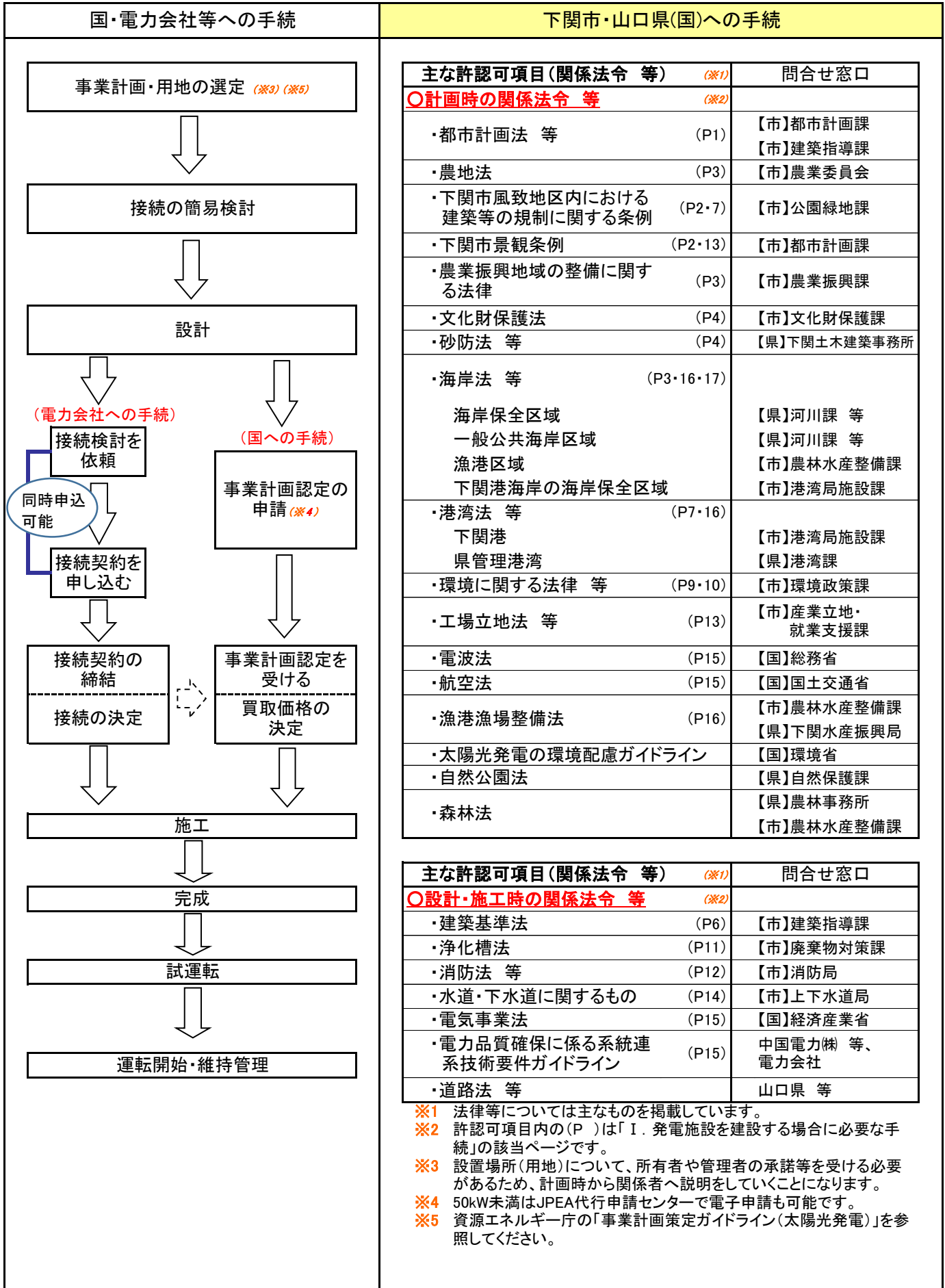


# 太陽光発電(50kW以上)導入に係る手順フロー図

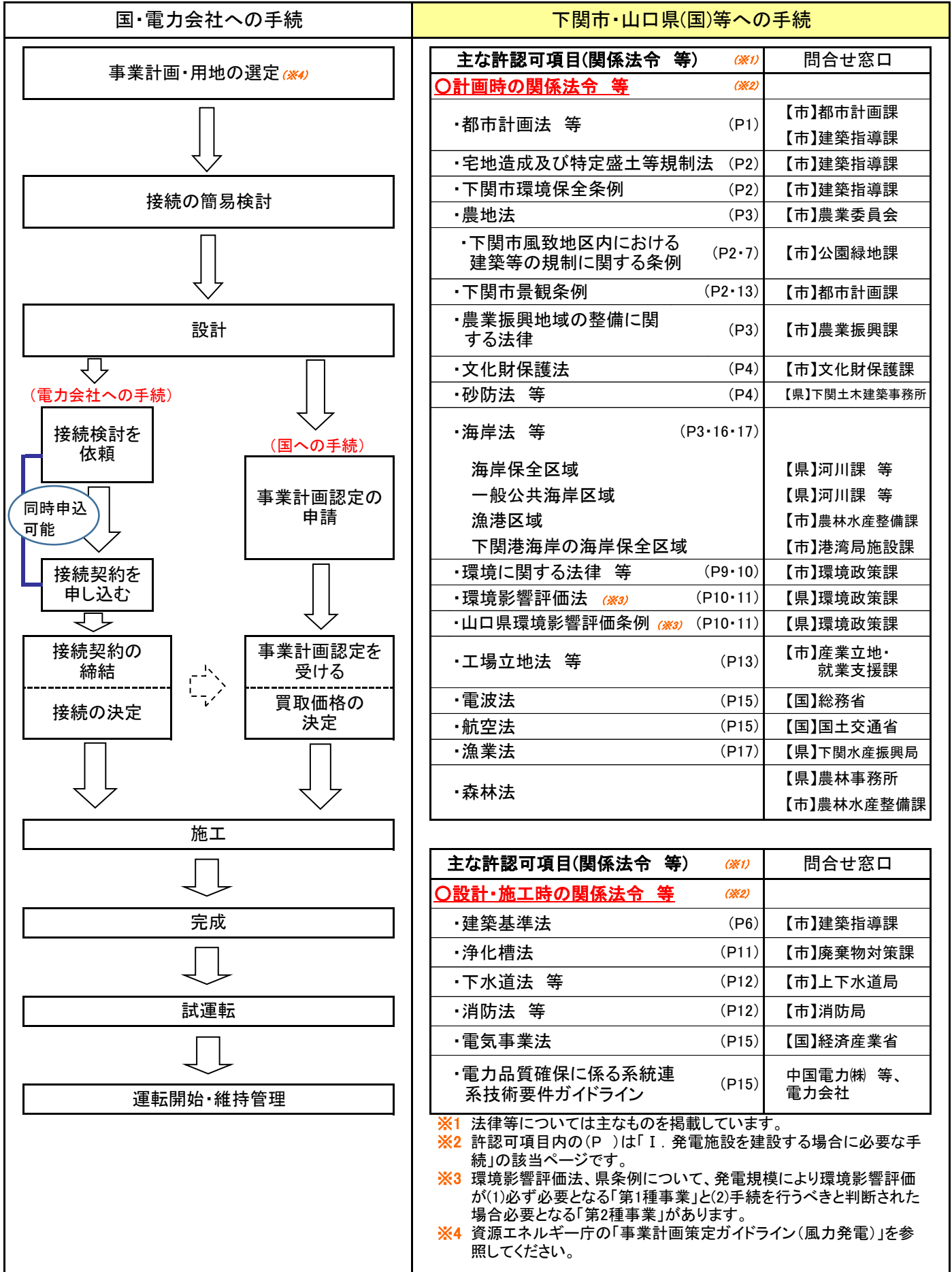


## 太陽光発電(50kW未満)導入に係る手続フロー図

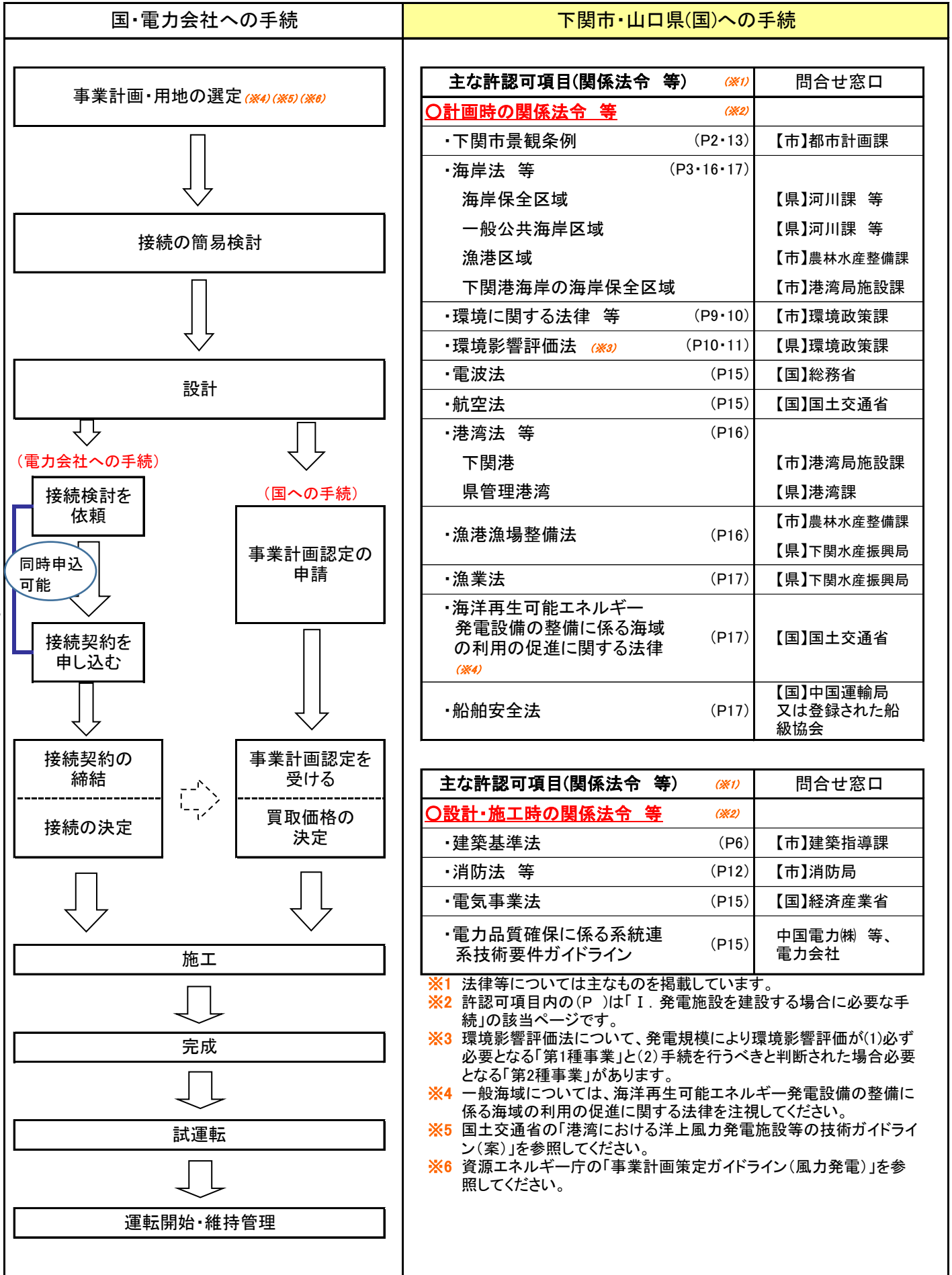


- ※1 法律等については主なものを掲載しています。
- ※2 許認可項目内の(P )は「Ⅰ. 発電施設を建設する場合に必要な手続」の該当ページです。
- ※3 設置場所(用地)について、所有者や管理者の承諾等を受ける必要があるため、計画時から関係者へ説明をしていくことになります。
- ※4 50kW未満はJPEA代行申請センターで電子申請も可能です。
- ※5 資源エネルギー庁の「事業計画策定ガイドライン(太陽光発電)」を参照してください。

# 風力発電導入に係る手続フロー図 (陸上)



# 風力発電導入に係る手続フロー図 (洋上)



※1 法律等については主なものを掲載しています。

※2 許認可項目内の(P )は「I. 発電施設を建設する場合に必要な手続」の該当ページです。

※3 環境影響評価法について、発電規模により環境影響評価が(1)必ず必要となる「第1種事業」と(2)手続を行うべきと判断された場合必要となる「第2種事業」があります。

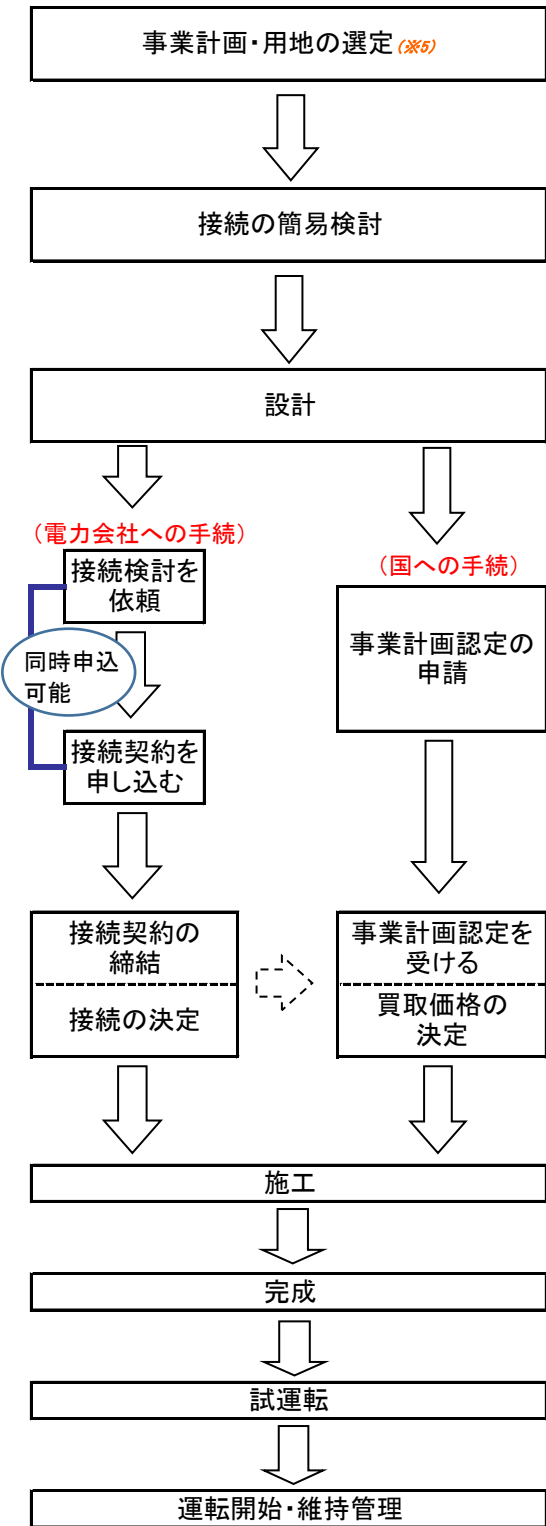
※4 一般海域については、海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律を注視してください。

※5 国土交通省の「港湾における洋上風力発電施設等の技術ガイドライン(案)」を参照してください。

※6 資源エネルギー庁の「事業計画策定ガイドライン(風力発電)」を参照してください。

# 地熱発電導入に係る手順フロー図

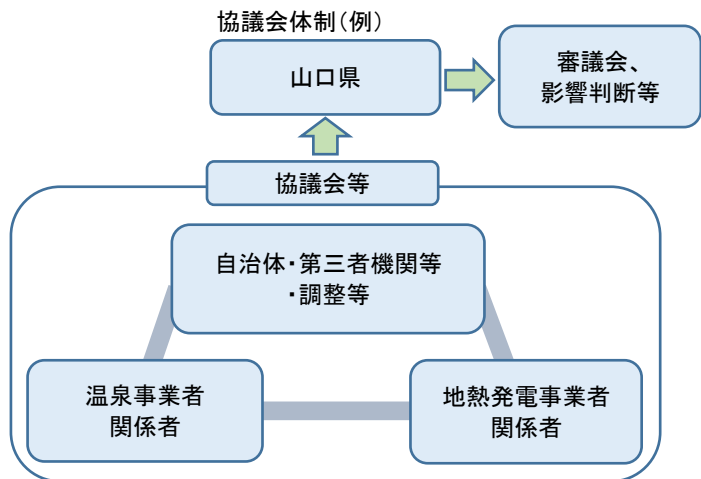
## 国・電力会社等への手続



## 下関市・山口県(国)への手続

主な許認可項目(関係法令 等) (※1)	問合せ窓口
<b>○計画時の関係法令 等 (※2)</b>	
・文化財保護法 (P4)	【市】文化財保護課
・砂防法 等 (P4)	【県】下関土木建築事務所
・環境に関する法律 等 (P9・10)	【市】環境政策課
・環境影響評価法 (※3) (P10・11)	【県】環境政策課
・高圧ガス保安法	【県】消防保安課

・温泉法  
山口県知事に申請  
【県】薬務課  
【市】生活衛生課



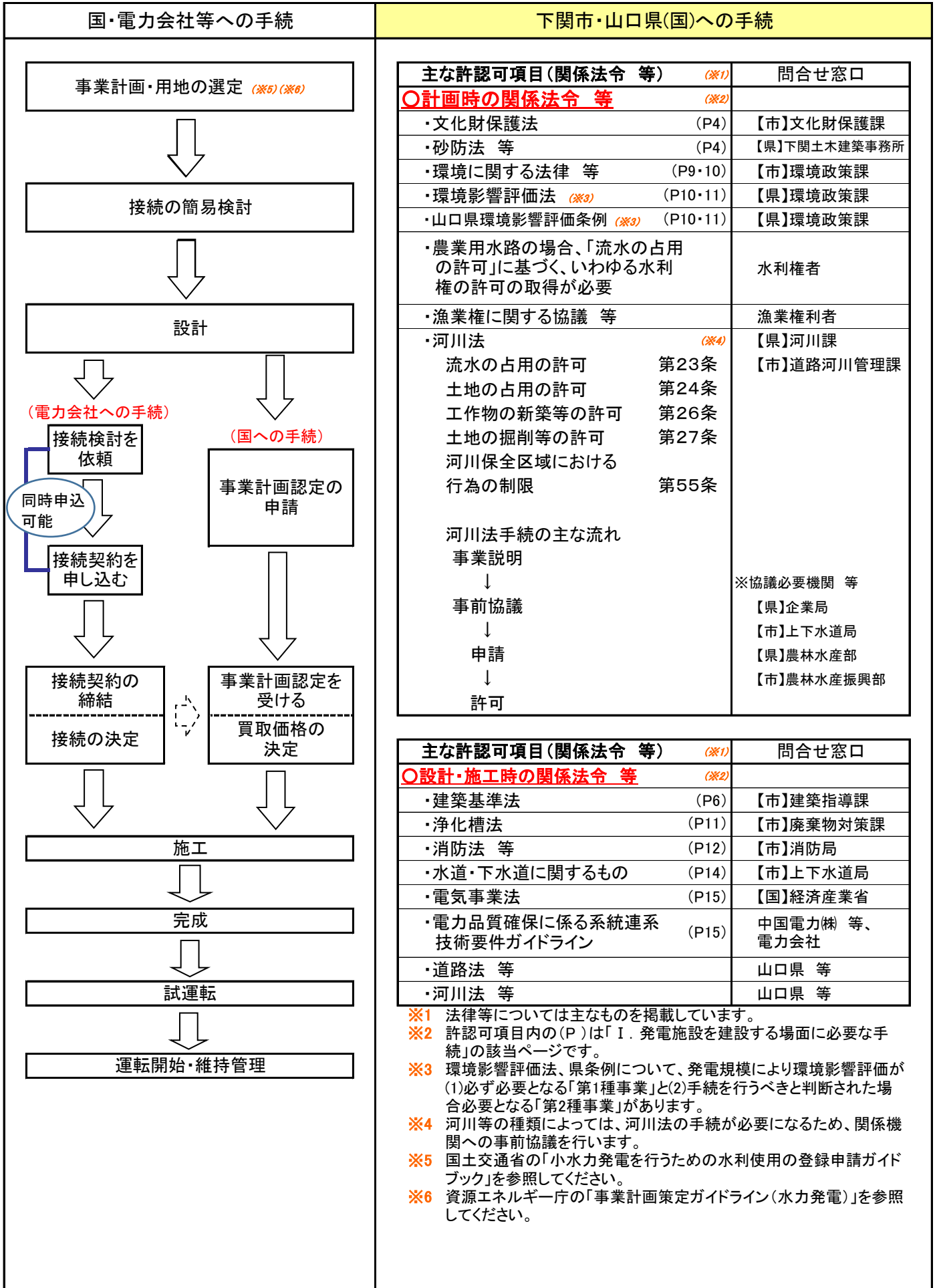
※協議会等において、関係者間の合意形成を図る。  
温泉資源の保護に関するガイドライン(地熱発電関係)《環境省》 (※4)

主な許認可項目(関係法令 等) (※1)	問合せ窓口
<b>○設計・施工時の関係法令 等 (※2)</b>	
・建築基準法 (P6)	【市】建築指導課
・浄化槽法 (P11)	【市】廃棄物対策課
・消防法 等 (P12)	【市】消防局
・水道・下水道に関するもの (P14)	【市】上下水道局
・電気事業法 (P15)	【国】経済産業省
・電力品質確保に係る系統 連系技術要件ガイドライン (P15)	中国電力(株) 等、 電力会社
・道路法 等	山口県 等

- ※1 法律等については主なものを掲載しています。
- ※2 許認可項目内の(P)は「I. 発電施設を建設する場合に必要な手続」の該当ページです。
- ※3 環境影響評価法について、発電規模により環境影響評価が(1)必ず必要となる「第1種事業」と(2)手続を行うべきと判断された場合必要となる「第2種事業」があります。
- ※4 環境省の「温泉資源の保護に関するガイドライン(地熱発電関係)」を参照してください。
- ※5 資源エネルギー庁の「事業計画策定ガイドライン(地熱発電)」を参照してください。

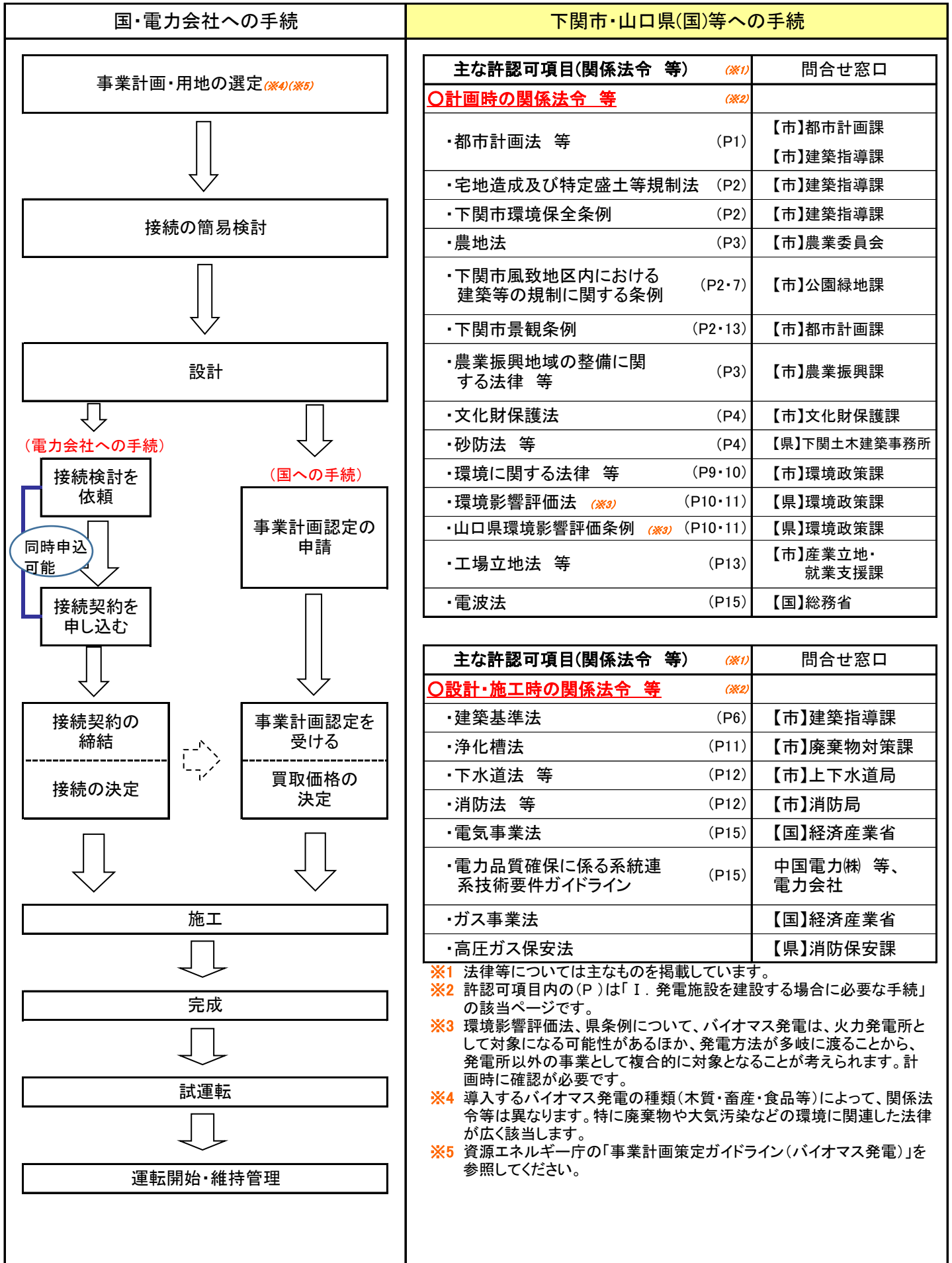


# 水力発電導入に係る手続フロー図



- ※1 法律等については主なものを掲載しています。
- ※2 許認可項目内の(P)は「I. 発電施設を建設する場面に必要な手続」の該当ページです。
- ※3 環境影響評価法、県条例について、発電規模により環境影響評価が(1)必ず必要となる「第1種事業」と(2)手続を行うべきと判断された場合必要となる「第2種事業」があります。
- ※4 河川等の種類によっては、河川法の手続が必要になるため、関係機関への事前協議を行います。
- ※5 国土交通省の「小水力発電を行うための水利使用の登録申請ガイドブック」を参照してください。
- ※6 資源エネルギー庁の「事業計画策定ガイドライン(水力発電)」を参照してください。

# バイオマス発電導入に係る手続フロー図



- ※1 法律等については主なものを掲載しています。
- ※2 許認可項目内の(P)は「I. 発電施設を建設する場合に必要な手続」の該当ページです。
- ※3 環境影響評価法、県条例について、バイオマス発電は、火力発電所として対象になる可能性があるほか、発電方法が多岐に渡ることから、発電所以外の事業として複合的に対象となることが考えられます。計画時に確認が必要です。
- ※4 導入するバイオマス発電の種類(木質・畜産・食品等)によって、関係法令等は異なります。特に廃棄物や大気汚染などの環境に関連した法律が広く該当します。
- ※5 資源エネルギー庁の「事業計画策定ガイドライン(バイオマス発電)」を参照してください。